

○ 協働事業の概要

記入年月日 平成31年3月28日

事業名	ペアレントプログラム及びペアレントメンター実施事業
団体名	NPO 法人 こども未来ラボ
担当課名	障がい者支援課
事業期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

①地域の課題が解決されましたか。(計画時に設定した課題がどの程度解決されましたか。対象者がどう変わりましたか。)

講演会を実施し、発達障がい支援の必要性を市民に訴えることができたこと、ペアレントプログラム講座により、保護者の対応力の向上はもとより保育士や幼稚園教諭にも参加してもらったことにより地域の支援向上にもつながったこと、講座参加者も含め悩みを抱える保護者のために親カフェを開催することにより保護者の悩みを解消できたことなどから、地域の課題解決に大いに役立ったと考えている。

また、ペアレントプログラム講座に参加した保護者へのアンケートによると、「困った子どもへの対応」について、「とても上手になった」と「やや上手になった」を合わせると93%になったことから、保護者への効果は大いにあったと感じている。

②団体の長所を、発揮させることが出来たか。(市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開ができましたか。)

講演会、講座の受付時の対応、終了後のフォロー等、発達支援に特化したNPO法人ならではの細やかなアドバイスや支援が実施された。特に今年度実施したペアレントメンター事業では、そうしたNPO法人の特徴を活かし、保護者に丁寧な寄り添い、保護者の悩み解決に尽力していた。

③協働の姿勢が図られましたか。(互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られましたか。)

毎日のように情報交換、打合せを重ねることで、情報共有、事業が目指すべき方向性について一緒に考えることができた。

④改善提案がありますか。

ペアレントプログラム及びペアレントメンター実施事業について、課の事業として継続し、発達障がいの子どもを持つ保護者を引き続き支援していきたい。

自由記載欄